

# ジェンダー平等を実現しよう

～男女の差がない職場環境が整っているか～

5

ジェンダー平等を  
実現しよう



チーム名：

岩手県立花巻南高等学校

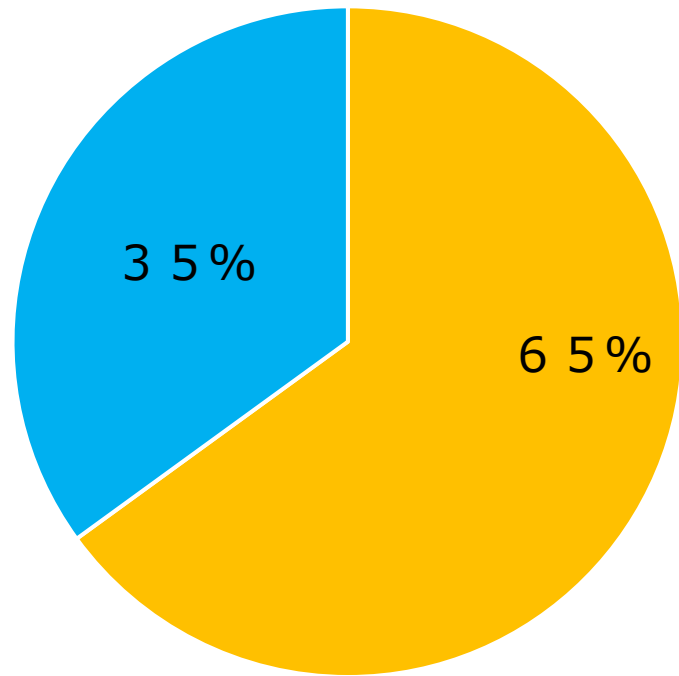
ジェンダー解決プロジェクトチーム

# 課題設定の背景

- 花巻南高校で働く職員を対象にジェンダー平等に関する調査を行い、男女の差があることに問題意識を持った。
- 「女性は子育て」「男性は仕事」といった偏見を減らしたい。
- 男女の差別や偏見のない、働きやすい職場を増やしたい。

# 花巻南高校の 職場環境

職場で男女差別を感じるか？ 教職員へのアンケートより



■ はい ■ いいえ

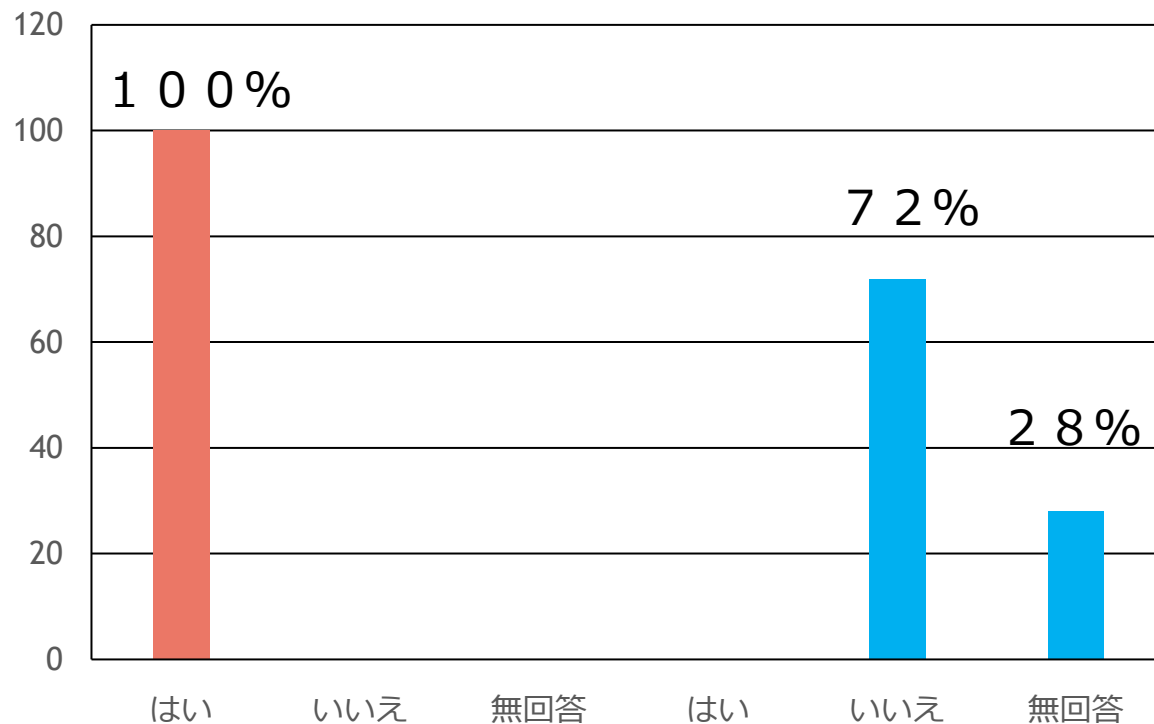
「女だから」「男だから」という理由で部活動顧問を決められる。

会議での意見や発言は、内容が同じでも男性の意見で決まることが多くある。

# 花巻南高校の 職場環境

育休を取ったことがあるか？

(赤：女性 青：男性)



教職員へのアンケートより

＜取得しなかった理由＞

- ・ 仕事が優先だと思った。
- ・ 子育ては帰宅してからで十分だと思った。
- ・ 申請したいと相談したがダメだと言われた。

# 花巻南高校の職場環境 からわかること



学校という教育の場は  
職業の中でも比較的  
ジェンダー平等な環境だと思うよ

ほかの職場では  
もっと問題や格差が  
あるのでは...

将来



# 今の岩手(花巻)のままでは・・・

- 男女で仕事の量や種類が決まってしまう。
- 男性は仕事、女性は家庭。偏見が減らない。
- 女性が働き続けにくい職場になる。
- 安心して子どもを産み育てる機会の減少。
- 岩手(花巻)の更なる人口の減少。

# 今の岩手(花巻)のままでは・・・

- 育休を取得するのが女性だけである
- 仕事と育児の両立が難しく、余裕がない。
- 安心して子どもを産み育てることができない。
- 少子化につながる。

# 岩手(花巻)の理想の未来

男女による差別・偏見のない職場

→男女が共に育休を取り、子育てを協力する。

→岩手(花巻)で働きたい人が増える。

→結婚して、子どもを産みたい人が増える。

→少子化を抑制する。





Jアンに「男のくせに」  
っていじめられたあ (TT)  
助けて～、ドラ●もん!

しょうがないなあ。  
とっておきの道具を  
出してあげよう・・・



# ACQ~~~!! Awareness Change Questionnaire

年 月 日

〇〇セミナー ご来場者アンケート

※当社は「セミナー」にご参加いただいた皆様にお礼を申し上げます。皆様からのご意見をいただき、より良いセミナーにしたいと考えております。アンケート結果にご協力をお願いします。

Q1. 【質問 1】このセミナーの満足度はどのくらいですか。  
満足 やや満足 どちらでもない やや不満 不満

Q2. 【質問 2】このセミナーの価値はどのくらいですか。  
満足 やや満足 どちらでもない やや不満 不満

Q3. 【質問 3】このセミナーの知識はどのくらいですか。  
満足 やや満足 どちらでもない やや不満 不満

Q4. 【質問 4】このセミナーの楽しさや面白さはどのくらいですか。  
満足 やや満足 どちらでもない やや不満 不満

Q5. Q4以外の質問事項はありますか。

・今回のセミナーを何で知りましたか。  
ホームページ DM 知人の紹介 検索エンジン SNS その他 ( )

・可能な範囲で所属を教えてください。

お名前   
お電話番号   
Eメール

ご協力ありがとうございました。



# プロジェクトの詳細①

ACQとは？

—Awareness Change Questionnaire—

- ジェンダー平等への意識を向けることができるアンケート。
- 男女差別についての質問をすることを通してジェンダー平等について考えることができる。
- 実際のアンケート用紙をご覧ください。

男女差別  
ジェンダー  
に意識を  
向ける  
質問項目

呼びかけの  
メッセージ

## ACQ

### -Awareness change questionnaire-

( 男 ・ 女 ・ わからない )

SDGs『5. ジェンダー平等を実現しよう』という項目についてアンケートを実施しています。次の質問にお答えください。

1. あなたは、SDGsに記載されている「ジェンダー平等」とは何か知っていますか。(はい・いいえ)
2. 「男・女だから」という理由で、差別されている・困っていると身近で感じたことがありますか。(はい・いいえ)
3. 将来、家族ができて子供が生まれたら、育休をほしいと思いますか。(はい・いいえ)
4. このアンケートを行う前より、少しでも社会の中で、男だから・女だからという理由で起こっている差別について考えるきっかけになりましたか。(はい・いいえ)

SDGsは2016年から2030年まで15年間で達成するために国連加盟193か国が掲げた目標です。ジェンダー平等の実現は難しいことです。特に、子育てによる男女の差は歴然ですが、改善されていません。だから、未来を担う私たちが勸めていかなければなりません。ぜひ、この機会に身近なところから意識し、考えていきましょう。

\*ご協力ありがとうございました\*

性別を必ず  
記入

LGBT(QIA+)の方は  
自身の尊重する  
性別かわからない  
に印をつける

## プロジェクトの詳細②

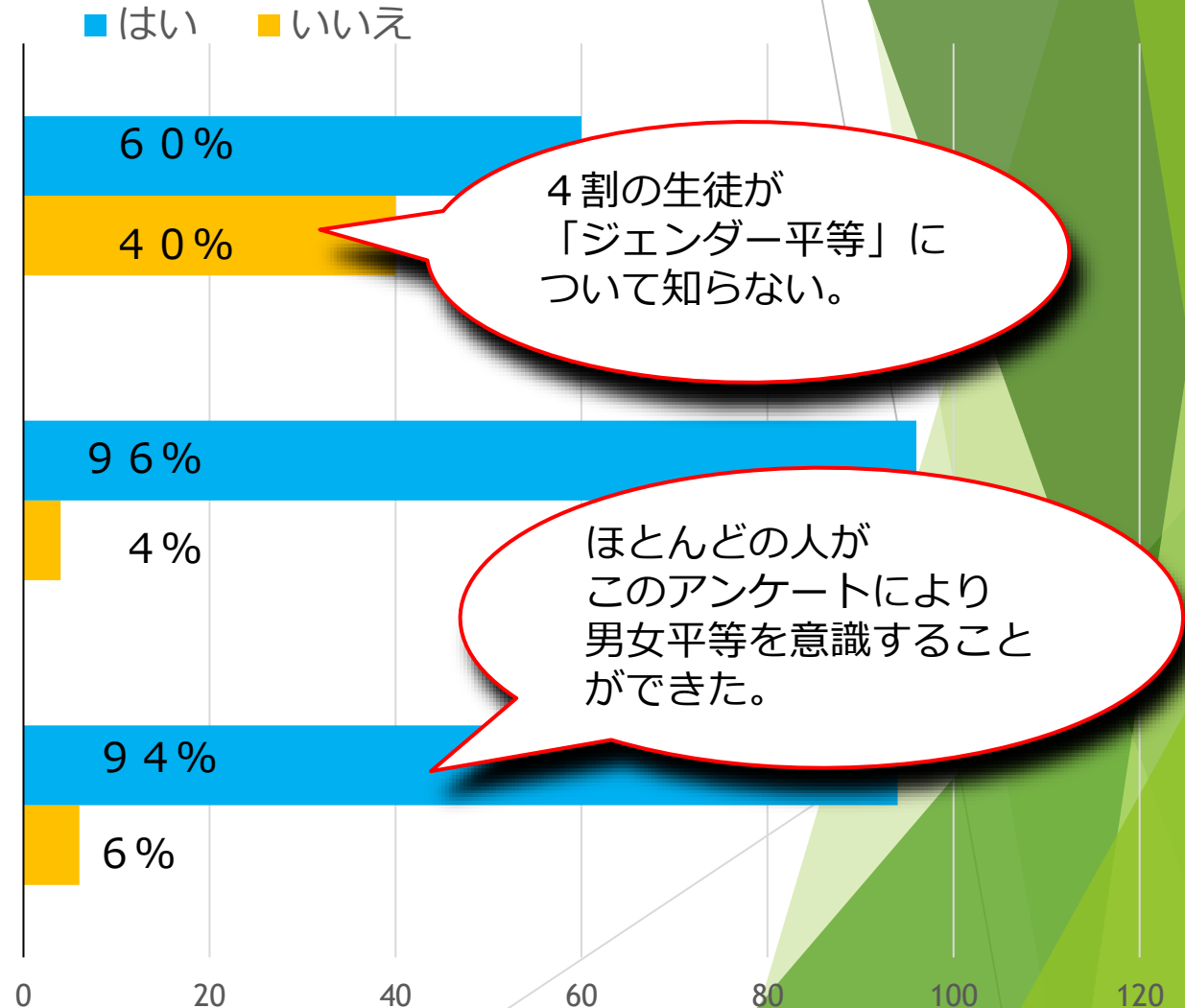
ACQとは？

—Awareness Change Questionnaire—

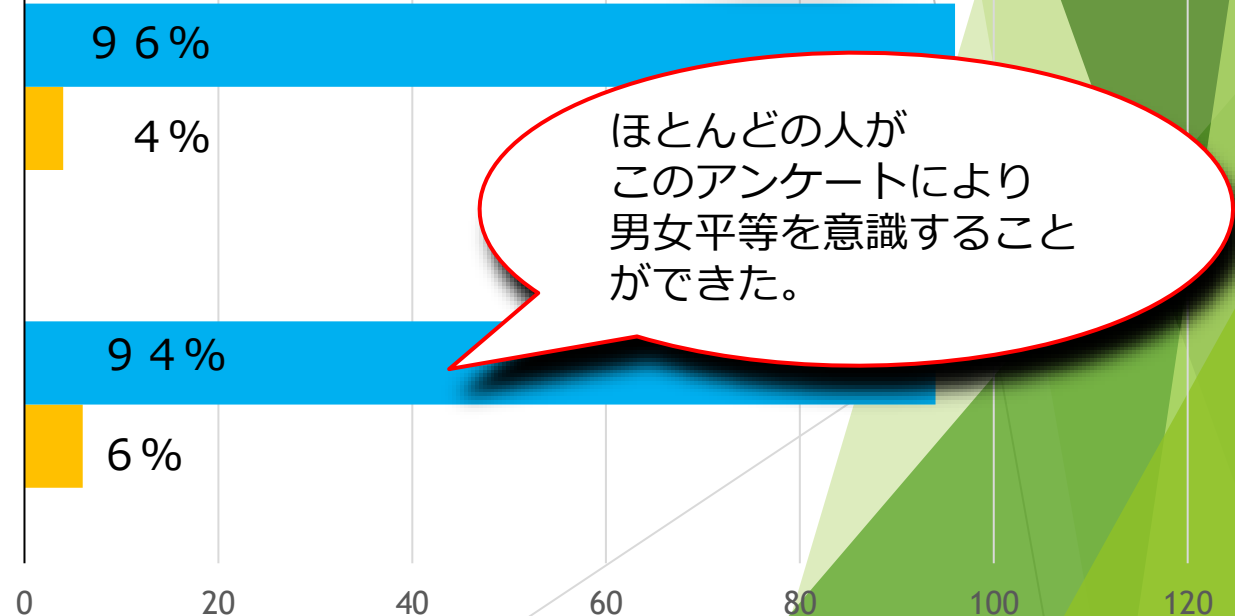
- 中高生を対象に行います。
  - 男女の偏見や差別が存在することを知る。
  - ジェンダー平等の実現をイメージする。
  - 若い世代の意識を変え、  
将来、ジェンダー平等な職場を作る。

# アンケートの検証（花南2年生200人）①

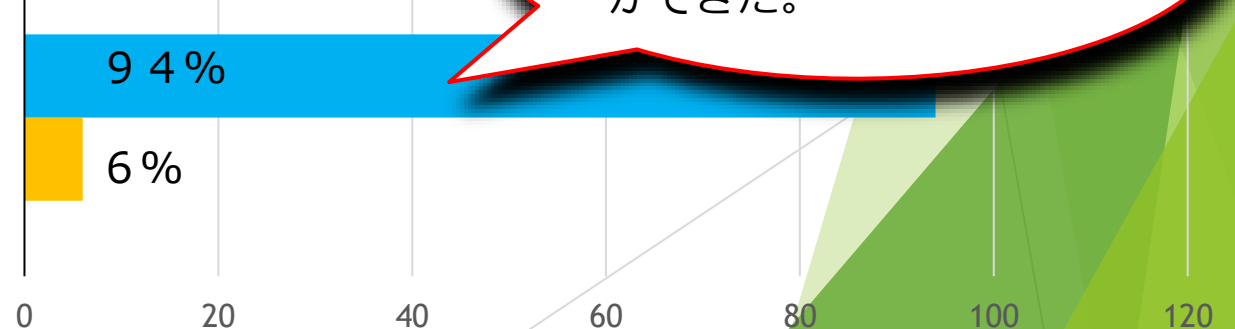
SDGs「ジェンダー平等」を知っているか



将来育休を取りたいか



アンケートが男女平等を考えるきっかけになったか？



# アンケートの検証（花南2年生200人）②

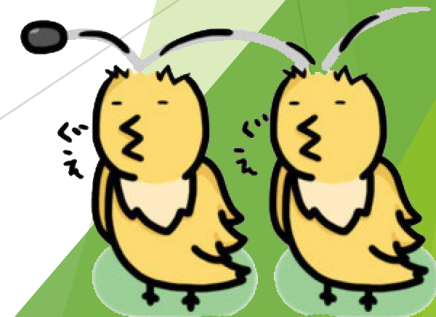
男子でも育休がほしいと考えている人が多くいた。

→結果を共有して、**全体の育休への意識**を変える。

→男性も育休をとれる環境が作りやすくなる。

→**「育児＝女性」の偏見が減る。**

—石ニ鳥



## アンケートの検証（花南2年生200人）③

高校生でも「ジェンダー平等」について知らない人も多い。

→アンケートを通してジェンダー平等に意識を向けることができた。

→定期的にアンケートを行えば**効果UP**↑

→アンケートを繰り返すことでジェンダー平等への**意識が維持・向上**する。



# プロジェクトの効果①

若いうちからジェンダー平等について考えるきっかけとすることができた。

→ジェンダーの問題への意識が高まり、  
将来職場でジェンダー平等について話し合うことができる。

## プロジェクトの効果②

育休取得についての意識を高めることができる。

→自分たちが働く時に、育休を取りやすい  
環境・雰囲気を作ることができる。

→男女関係なく育休の取得を促すことができる。

# クォータ制について

- 女性を要職の一定割合に振り分ける。
- 制度の導入
  - 制度に関する法律を新設、改正。
  - 綱領や社内規定などに明記。

- OECD加盟国32カ国
- 南米の国々、途上国  
などの国が民主化の一環として  
「クォータ制」を取り入れている。

# 自分たちができること

ACQを使って、これからの社会を作っていく  
若者の意識を変えていく



将来大きな政策を生み出す



**ジェンダー平等な社会に近づく**

# ジェンダー平等の 実現を目指して・・・

ご清聴  
ありがとう  
ございました

